

第312回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和7年10月20日（月） 11:00～12:00

2 開催場所 エフエム栃木本社 会議室

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 5人

（1）出席委員の氏名 小笠原 伸 （委員長）
君島 理恵 （副委員長）
青木 敬信
新井 啓泰
宗像 信如

（2）放送事業者側出席者 仲山 信之（代表取締役社長）
岡本 明子（放送部長）
渡辺 裕介（放送部長代理）

4 議題 （1）番組の試聴及び意見交換
（2）次回開催日程について
（3）その他

5 議事の概要

（1）番組の試聴及び意見交換

栃木県日光市を拠点とするアイスホッケーのプロチーム「HC 栃木日光アイスバックス」が、前身の『日光精銅所アイスホッケー部』が1925年に創部されたことから、今年100周年を迎えている。大きな節目となることを記念し、県民に「地域の誇り」としてのチームの歴史と未来を伝える番組としてオリジナル番組「100年目のパック～HC 栃木日光アイスバックス創部100周年～」を企画・制作。

日光市を中心とする地域文化としてのアイスホッケーを深掘りし、競技に関わる「ひと」にもさまざまな角度からスポットを当てたものとなります。

事務局： 出演は渡辺裕介アナウンサーで、ちょうどホームゲームのある23日（祝日）の昼に放送としました。また、レディオベリーで1999年に放送した当時の特別番組の音声も各所で活用しています。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：ハートフルでドラマチックな構成で、地元出身の渡辺アナの思い入れの強さが伝わり、改めてアイスホッケーに興味を持たせてくれた。ファンの生の声も多く、熱量や愛情が伝わる。他のスポーツチームも参考になる内容だったと思う。

委員：地元に根付いたチームを取り上げることは地元放送局として意義がある。チームと地域のよい繋がりだけでなく、苦労等も広くアピールできる。このようなチームが地元にあることが誇らしいと感じられる、レディオベリーらしい番組だと言える。

委員：インタビューが多く、過去の取材内容と現在の内容が入り混じり、時間軸や、誰が誰なのかが聞いていて分かりにくい。耳だけでは難しいので適度な補足が欲しい。チームの今後の展望についてもやや弱めに感じられた。

委員：アイスホッケーは地域に限られるスポーツなので全く知識がない人も多い中、パックを今川焼に例える表現は良かった。冒頭の淡々とした入り方も良い。OB選手の山本さんのインタビューは貴重で、また、セルジオ越後さんの話もとても良かった。

（以上）

（２）次回開催日程について

回目の開催を 令和7年11月18日（月）とすることについて、全出席委員の了解を得た。

（３）その他

特になし

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

番組スタッフと共有し、さらに番組の質の向上に努めることとしました。

（令和7年10月23日）

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

（１）放送 10月26日（日）19時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

（２）書面 本社事務所に備え置き

（３）インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし